

2022年度犬飼中・千歳中「郷土の先輩特別授業」7月7日(木)

【講師】 山村 恵美子 氏 (株)みらい蔵代表取締役会長  
公栄農事営農組合(株)取締役



【授業内容】

「私らしく生きる」 「人が喜んでくれるのがうれしい」「何でも、チャレンジ」

☆情報を取り入れる。不思議を調べる。⇒人生が変わる。

☆人のためにどんなふうに役立っていくのか。⇒人に役立つことを考える。

### 〈「みらい蔵」経営理念〉

「我がみらい蔵の存在は社会にあり。その存在意義は農業経営者に対する“奉仕と提案”にある。」

#### ◇農業で一番大事なものは、土づくり

◇効率的な施肥(コスト削減)⇐肥料(98%輸入)の値段が2倍以上。野菜の値段、農家が決められない。

⇒**ソイルマン(土壌診断施肥設計システム)** 日本国内の農場・企業(パナソニック等)も活用

⇒作物と人は同じ(作物の状態と土壌を分析し、必要な時に必要な物を必要な量与える)

⇒SDGsへの取り組み(健康・平等・エネルギー・経済・まちづくり・再生・気候・自然・目標達成)

#### ◇土壌・環境・販売等のデータに基づいた農業経営の支援

⇒施設園芸(ハウス等)は、日本の耕地面積の1%。初期投資が大きいので、個人では難しい。

⇒これまでの経験値による農業からデータを元にした科学的な農業

(**農業管理トータルシステム**)(大分大学と提携)

⇒タブレット・スマホ端末の導入⇐データ(日報)の入力(蓄積)

⇐作物暦, 資材カタログ, 分析検査ソフト, 病虫害判定ソフトの活用

⇒無駄な肥料の使用を最少化しながら高品質と高収入

将来的に農作物の値段は上昇する。安全で美味しい作物で高収入を(500円のキュウリづくり)

ロボット開発(省力化)もめざしている。

### 〈仕事に向かう心構え〉 ☆仕事は訓練場。家庭が本番。

○「構築」(興味をいっぱい持ち、調べて計画)⇒「実践」(チャレンジ)⇒「検証」(失敗はヤッター!)

○トラブルが発生した時は、自分に問題がある。

○「三方よし」(①消費者と②生産者が喜び、③社会に貢献する。)をめざす。

○人は自分の価値観を通して物事を伝える。(自主的に聞く→相談しても人の価値。自分の責任。)

○「仕事は舞台」、自分の役割とチームワーク。(先輩の意見を聞く耳を持つ。)

○現場で役に立ち、人から喜ばれる人間になる。(恋愛と同じ。相手が喜ぶことを考える。)

### 《生徒の感想から》

- ・豊後大野市が良くなっていくように豊後大野市に係わる仕事も悪くないと思いました。
- ・土に注目してそこに必要な肥料は何なのか教えてもらおうと、かかるお金は少なくでき、生産者は、すごく助かるんじゃないかなと思いました。進化した農業は面白いなと思いました。
- ・科学技術やデータを活用してより良い作物を作っていることを知り、若いうちに知識を得ておくと良いと思いました。そのために、何でも興味関心を持って失敗を恐れずに挑戦していこうと思いました。また、失敗したらどこを改善すればよいかしっかり考えて同じ事を繰り返さないようにしたいと思いました。
- ・農業はきつい仕事だと思っていたけど、今は、ドローンや人工衛星を使って楽になっていると聞いて、すごいと思いました。
- ・わからないことがあったらタブレットなどを使って調べるようにしようと思いました。
- ・山村さんの自分ががんばりすぎて、まわりがついて来れなかったエピソードと一緒に「トラブルが発生した時は、自分に問題がある。」という話を聞き、周りを見ること(チームワーク)の大切さを学びました。
- ・とても印象に残っているのは、「トラブルが発生した際は自分に問題がある」です。なぜと思いましたが、両方がこう考えると、互いに素直に謝罪ができるし仲直りも早くなる、すごくよい考え方だと思いました。
- ・中学や高校で成績が悪くてもがんばれば、どんなことでもできるんだと思いました。
- ・将来「こうなりたい」という夢があります。でも、自分には無理かもしれないとあきらめかけていました。しかし、今日の授業を受けて、何事にも恐れずに挑戦してみようと思いました。